

平成20年度草地飼料作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成20年度草地飼料作関係除草剤・生育調節剤試験成績
 討会は、平成21年1月29日(木)に植調会館において開催
 された。

この検討会には、試験場関係者12名、委託関係者12名

ほか、計39名の参集を得て、除草剤5薬剤(45点)につい
 て、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に
 示す通りである。

平成20年度 草地飼料作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注) アソギ・ライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. BAS-656乳 シメタミトP:64% [BASFアグロ]	ソルガム	適用性 新規	長野畜試 鹿児島畜試 (2)	[一年生雑草(デコ科、アブラナ科、アカ サ科除く)] ・播種後出芽前 雑草発生前 ・75, 100, 120mL<100> ・土壌処理	継	継) ・効果、薬害の確認
2. DPX-16顆粒水和 チフェスルフロメチル:75% [デュポン]	牧草	適用性 新規	岐阜畜産研 鹿児島畜試<イタリナ イグラスは中間> (2)	[一年生広葉雑草] ・牧草生育期 雑草生育期 ・3, 4, 5g<100> ・全面茎葉処理	継	継) ・効果、薬害の確認
	草地更 新	適用性 継続 (H19)	北海道畜試 北海道根釧農試 大分畜試 鹿児島畜試 (4)	[ギンギン] ・牧草定着時 ギンギン生育初期(実生) ・0.5, 1, 2g<100> ・茎葉処理(全面散布) 対) アソギ 200~300mL<100>	実	実) [牧草;ギンギン] ・牧草定着後 ギンギン草丈20cm以下(実生) ・0.5~1g<100L>/10a ・茎葉処理 注) ・マメ科牧草(クローバー類)には強い薬 害を生じることがある
3. NC-622液 クワリホートカリウム塩:48% [日産化学]	草地更 新	作用性 新規 (H19)	植調十勝 (1)	[リトキナリグラス] ・2番草刈取後(夏以降) 雑草生育期 ・500, 1000mL<50> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対) ラウトアップ液 500mL<50>	一	(作用性)
	草地更 新	適用性 継続	北海道畜試 北海道上川天北 (2)	[雑草全般] ・耕起10日以前 雑草生育期 ・200, 300mL<25> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対) ラウトアップ液 500mL<25>	実	実) [草地更新;一年生雑草、多年 生雑草、ギンギン] ・耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) 200~500mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用)> 茎葉処理
	草地更 新	適用性 継続	北海道畜試 北海道上川天北 (2)	[ギンギン] ・耕起10日以前 雑草生育期 ・300, 500mL<25> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対) ラウトアップ液 500mL<25>		

A. 除草剤

注) アソナールは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
NC-622液 [委託者]	草地更新	適用性 継続 (H19)	栃木酪農 熊本草地畜産研 大分畜試 鹿児島畜試 (4)	[雑草全般(キナシ)] ・ 耕起前日 雑草生育期 ・ 200mL<25, 50>、 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 500mL<50>		
	草地更新	適用性 継続	北海道根釧農試 北海道上川天北 (2)	[雑草全般] ・ 播種10日前 雑草生育期 ・ 200, 300, 400mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>	実	実) [草地更新; 一年生雑草、多年生雑草] ・ 播種前(播種当日まで) 雑草生育期(草丈30cm以下) 200~500mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用)> 茎葉処理
	草地更新	適用性 継続	北海道根釧農試 北海道上川天北 (2)	[雑草全般] ・ 播種当日 雑草生育期 ・ 200, 300, 400mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>		
	草地更新	薬害 継続	植調十勝 (1)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 500, 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		
	草地更新	適用性 継続 (H19)	栃木酪農 熊本草地畜産研 大分畜試 鹿児島畜試 (4)	[雑草全般] ・ 播種当日 雑草生育期 ・ 200mL<25, 50>、500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>		
	草地更新	薬害 継続 (H19)	熊本草地畜産研 (2)	[薬害試験] ・ 播種当日 雑草生育期 ・ 500, 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		
牧草	適用性 新規	植調埼玉<翌春> 東京農総研 島根畜産<翌春> (3)		[雑草かん木] ・ 牧草生育期 伐採直後 ・ 原液(十分量) ・ 切り株塗布処理 ・ 展着剤不要	実・継	実) [牧草; 雑草かん木] ・ 雑草かん木伐採直後 原液 切り株塗布処理 (切り口全体に塗布) 継) ・ 処理翌年の効果について ・ 年次変動の確認

A. 除草剤

注) アナグーライは新たに判定された部分

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. ZK-122液 グリホサートカリウム塩: 44.7% (中央値管理値で表 示) [シシエンタ ジ ャ パ ン]	ソルガム	適用性 継続	長野畜試 大分畜試 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<25, 50>, 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウト・アップ・ハイポート液 250mL<50>	実	実) [ソルガム; 一年生雑草] ・ 耕起または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250~500mL<25~50L>/10a (専用ノズル使用) ・ 茎葉処理
	草地更 新	作用性 新規 (H19)	植調十勝 (1)	[ワト・キャリー・グラス] ・ 更新・造成10日以前および 2番草刈取後 (夏以降) ・ 500, 750mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要	一	(作用性)
	草地更 新	適用性 継続	新潟畜産研<収量> 栃木酪農<収量> 熊本草地畜産研 <収量> 鹿児島畜試<収量> (4)	[雑草全般、ギンギン] ・ 耕起10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 300mL<50, 100>、750mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 ・ 対) タッチダウンIQ液 500mL<50>	実・ 継	実) [草地更新; 一年生雑草、多年 生雑草、ギンギン] ・ 耕起10日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 300~500mL/10a <25~100L/10a> (25~50Lは専用ノズル使用) 茎葉処理 継) ・ 水量100L処理での年次変動の確認
	草地更 新	適用性 継続	新潟畜産研<収量> 栃木酪農<収量> 熊本草地畜産研 <収量> 鹿児島畜試<収量> (4)	[雑草全般] ・ 播種前 雑草生育期 ・ 200mL<25, 100>、500mL<25, 100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) タッチダウンIQ液 500mL<50>	実・ 継	実) [草地更新; 一年生雑草、多年 生雑草] ・ 播種前 (播種当日まで) 雑草生育期 (草丈30cm以下) 茎葉処理 200~500mL/10a <25~100L/10a> 継) ・ 500mL<水量100L>処理での薬害 について、年次変動の確認
5. AK-01液 グリホサートイソプロピルアミン 塩 41% [TAC普及会]	草地更 新	適用性 継続 (H19)	熊本草地畜産研 大分畜試 (2)	[雑草全般] ・ 播種当日 (播種直前) 雑草生育期 ・ 250, 500mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウト・アップ液 250mL<50>	実 (従来と おり)	実) [草地更新; 一年生雑草、多年 生雑草] ・ 播種前 (播種当日まで) 雑草生育期 (草丈30cm以下) 250~500mL/10a <50L/10a (専用ノズル使用)> 茎葉処理
	草地更 新	薬害 継続 (H19)	栃木酪農 (1)	[薬害試験] ・ 播種当日 (播種直前) ・ 500, 1000mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要		